

分布調査報告書(31)

2005

山形県教育委員会

分布調査報告書(31)

平成17年3月

山形県教育委員会

序

本書は、山形県教育委員会が平成15年度に実施した遺跡詳細分布調査の成果をまとめたものです。

第四次山形県教育振興計画の「感性豊かな教育と文化の創造」をテーマとし、その中で、文化財の保存と活用については、文化財基礎調査や遺跡詳細分布調査を計画的に実施すること、埋蔵文化財基本台帳等の整備を図り、文化財情報システムの構築や文化財の周知の徹底・普及に務めることが大きな柱とされました。分布調査は、第五次山形県教育振興計画における「文化財の公開や活用」を推進するためにも、今後も継続して実施していく必要があります。この中で埋蔵文化財の周知に欠かせない台帳整備も平成12年度までに終了し、完全とまではいかないまでもデジタル化による周知システムを発足させ、各開発関係公所並びに市町村教育委員会等の保護部局で活用いただいているところです。

遺跡詳細分布調査は周知の埋蔵文化財包蔵地や未発見のままとなっている埋蔵文化財包蔵地と各種の開発計画との調整資料を得るために実施しておりますが、この調査により、埋蔵文化財包蔵地の從来の情報を変更する必要が生じます。本書は、CDで配布いたしました埋蔵文化財情報システムの内容を一部改訂し、新情報をお知らせするものでもあります。開発計画の策定にあたり活用していただければ幸いです。

平成17年3月

山形県教育委員会

教育長　日野　雅夫

例　　言

- 1 本書は平成15年度に山形県教育委員会が国庫補助を受けて実施した平成14年度以降農林土木事業関係遺跡他に関する遺跡詳細分布調査（県内遺跡発掘調査）の報告書である。平成15年度に記録保存調査を実施した遺跡で、報告を次年度以降とせざるを得なかつた遺跡もある。
- 2 本書の作成は山形県教育庁社会教育課文化財保護室の渋谷孝雄、名和達朗、高橋敏（平成15年度担当者）及び阿部明彦の4名が担当した。
- 3 第Ⅰ章に平成15年度の調査遺跡一覧を、第Ⅱ章に個々の調査結果を記した。また、Ⅲ章には調査結果をまとめるとともに、平成13～15年度に国等の機関や市町村教育委員会、地権者から、通知または届出があった新規発見遺跡の一覧を示した。平成15年度までの新規発見遺跡、登録抹消遺跡、範囲・位置の変更についても本書の発行をもって周知されたものとする。
- 4 掲図の縮尺は不統一であり、各図毎にスケールを示した。遺跡地図は国土地理院発行の2万5千分の1の地図を使用した。なお、第Ⅱ章-2、3ではこれを縮小して使用した。使用地図の図幅一覧は巻末に掲載した。
- 5 掲図及び文中の記号は以下のとおりである。
T、TTは試掘溝、TP、□は試掘溝を表す。図中の赤色部分は遺構・遺物が検出されたことを示し、黒色部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。
遺跡位置図の赤色部分は遺跡の範囲を示す。
ST-堅穴住居跡、SB-建物跡、SK-土坑、SD-溝跡、EB-掘り方、EP-柱穴、SX-性格不明落ち込みを示す。
- 6 図版の遺物の縮尺は任意である。
- 7 調査にあたっては、関係各機関・市町村教育委員会及び地権者各位、地元関係者のご協力を得た。ここに、記して感謝申し上げる。

目 次

I 調査の目的、方法と経過	
1 調査の目的、方法	
2 調査の経過	1
II 調査の概要	
1 遺跡地名表	
(1)県農林事業関係遺跡	4
(2)県土木事業関係遺跡	4
(3)県総務部事業関係遺跡	6
(4)国土交通省事業関係遺跡	6
(5)日本道路公団事業関係遺跡	6
2 試掘調査の概要	
(1)長瀧本橋遺跡	22
(2)大道寺遺跡	24
(3)胡桃平Ⅱ遺跡	26
(4)蛇崩窯跡	28
(5)船止遺跡	32
(6)高瀬山古墳	34
(7)中山城跡	40
(8)六角壇遺跡	42
(9)百刈田遺跡	43
(10)鶴の木館跡	44
(11)下中田遺跡	46
(12)太郎水野1	47
(13)太郎水野2	48
(14)梓山a遺跡	50
(15)梓山d遺跡	51
(16)町在家館跡	52
III まとめ	
1 調査遺跡について	
2 新規登録遺跡および記載事項変更遺跡、登録抹消遺跡	54
(1)県教育委員会が発見し登録した遺跡	54
(2)国等の機関、市町村教育委員会からの通知、 地権者からの届出により登録した遺跡	54
(3)範囲等の修正を必要とする遺跡、登録を抹消した遺跡	56

附表目次

表-1	平成15年度分布調査遺跡一覧	2
表-2	平成15年度県内遺跡分布・試掘調査工程表	3
表-3	掲載遺跡位置図使用図幅一覧（2万5千分の1）	54
遺跡地名表挿図・図版目次		
遺跡地名表	位置図・図版1 県農林事業関係遺跡	10
遺跡地名表	位置図・図版2 県農林事業関係遺跡	11
遺跡地名表	位置図・図版3 県農林事業関係遺跡	12
遺跡地名表	位置図・図版4 県農林事業関係遺跡	13
遺跡地名表	位置図・図版5 県農林事業関係遺跡	14
遺跡地名表	位置図・図版6 県農林事業関係遺跡	15
遺跡地名表	位置図・図版7 県農林事業関係遺跡、県土木事業関係遺跡	16
遺跡地名表	位置図・図版8 県土木事業関係遺跡	17
遺跡地名表	位置図・図版9 県土木事業関係遺跡	18
遺跡地名表	位置図・図版10 県土木事業関係	19
遺跡地名表	位置図・図版11 農林水産省関係遺跡、県土木事業関係遺跡	20
遺跡地名表	位置図・図版12 県土木事業関係遺跡、県農林事業関係遺跡	21

挿図目次

第1図	長瀬本橋遺跡概要図	22
第2図	大道寺遺跡概要図	24
第3図	胡桃平Ⅱ遺跡概要図	26
第4図	蛇崩窯跡概要図	28
第5図	蛇崩窯跡出土須恵器実測図（1）	30
第6図	蛇崩窯跡出土須恵器実測図（2）	31
第7図	船止遺跡概要図	32
第8図	船止遺跡調査平面・断面略図	33
第9図	県指定史跡高瀬山古墳概要図	34
第10図	高瀬山古墳調査平面略図	35
第11図	高瀬山古墳調査平面断面略図	36
第12図	中山城跡概要図	40
第13図	六角壇遺跡概要図	42
第14図	百刈田遺跡概要図	43
第15図	鶴の木館跡概要図	44
第16図	下中田遺跡概要図	46
第17図	太郎水野1遺跡概要図	47
第18図	太郎水野2遺跡概要図	48
第19図	梓山a遺跡概要図	50
第20図	梓山d遺跡概要図	51
第21図	町在家遺跡概要図	52

図版目次

図版1	長瀬本橋遺跡	23
図版2	大道寺遺跡	25
図版3	胡桃平Ⅱ遺跡	27
図版4	蛇崩窯跡	29
図版5	船止遺跡	33
図版6	高瀬山古墳1	37
図版7	高瀬山古墳2	38
図版8	高瀬山古墳3	39
図版9	中山城跡	41
図版10	六角壇遺跡・鶴の木館跡・百刈田遺跡	45
図版11	下中田遺跡・太郎水野1遺跡・太郎水野2遺跡	49
図版12	梓山a遺跡・梓山d遺跡・町在家遺跡	53

I 調査の目的、方法と経過

1 調査の目的、方法

本調査は、平成15年度以降に予定されている開発計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の詳細な分布調査を行い、遺跡の所在、範囲、性格を明らかにし、開発計画との調整をとって、遺跡の保護を図ることを目的とした。なお、一部、今年度までの調査結果に基づき、記録保存や現状保存を目的とする小規模な発掘調査と工事立会いの調査も実施した。

調査は、その目的によって、以下の方法で実施した。

（1）A調査（現地確認調査・表面踏査）

開発事業計画範囲内の表面踏査を行い、遺跡の範囲と事業実施計画区域の平面的な関係を確認し、遺跡の保護を図ることを目的とする。

（2）B調査（試掘調査）

坪掘りやトレンチ掘りを行って造構や遺物の平面的な分布範囲や、意向確認面までの深さ等を把握して、開発計画との調整をとって遺跡の保護を図ることを目的とする。

（3）C調査（記録保存のための発掘調査）

A・B調査の結果、遺跡の保存状態が良好でない場合や、開発事業にかかる面積が狭い場合や接する場合に、必要に応じて実施する記録保存の調査。方法は発掘調査に準ずる。

（4）立会い調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合、工事施工に立ち会って実施する調査。この調査によって、造構や遺物が発見された場合には記録保存を行う。

2 調査の経過

山形県教育委員会では、毎年5～6月に開発関係各機関に、今後の事業計画についての照会を行い、その回答を受けて、7月上～中旬に聞き取りを実施し、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について検討を行っている。そして、この結果に基づいて、必要に応じて分布調査を実施し、事業との調整を図っている。そのほか、開発関係各機関から提出された埋蔵文化財分布調査に基づく調査も隨時行っている。

平成15年度の調査は表-1に示した各遺跡の調査を平成15年4月から平成16年3月まで表-2の工程で行うと共に、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための表面踏査と試掘調査も実施した。

なお、平成15年度に県教育委員会が新たに発見した遺跡（平成15年度登録遺跡）、範囲等を訂正した遺跡、登録を抹消した遺跡は、Ⅲ章のまとめに示した。

表-1 平成15年度分布調査遺跡一覧

No	事業名	事業地区名	遺跡名	調査区分			
				A	B	C	立会
1	ため池整備事業 農村自然環境整備事業	東根市日塔地区 山辺西部地区	日塔B 蓮台寺			○	○
2	中山間総合整備事業 中山間総合整備事業 中山間総合整備事業 中山間地域総合整備事業 中山間地域総合整備事業	舟運の里2期 舟運の里2期 舟運の里2期 ふじの里東部特里2号 ふじの里東部特里3号	寺台 広原尾 角川小 新地 西山	○	○	○	
3	過疎基幹農道整備事業	坂井町白柳地区	長者原	○	○		
4	農地環境整備事業 農地環境整備事業 農地環境整備事業	橋引町櫛代地区 橋引町櫛代地区 橋引町櫛代地区	櫛代F 櫛代G 櫛代H	○	○		
5	広域農道整備事業 一般農道整備事業 農免農道整備事業	紅花の丘地区 長瀬西部4期 天童市川原子	玉虫沼B 長瀬本村 光明寺跡			○	○
6	経営体育成基盤整備事業 経営体育成基盤整備事業 経営体育成基盤整備事業 経営体育成基盤整備事業 経営体育成基盤整備事業 経営体育成基盤整備事業 経営体育成基盤整備事業	上山市小倉植ノ山1 上山市小倉植ノ山2 上山市小倉植ノ山3 上山市小倉一ノ堰1 上山市小倉一ノ堰2 上山市小倉野手倉1 上山市小倉森合	植ノ山1 植ノ山2 植ノ山3 一ノ堰1 一ノ堰2 野手倉1 森合	○			
7	水田農業振興緊急整備事業	余目町大野田谷B				○	
8	主要地方道山形上山線 一般県道大野目内表線 道路改築事業一般国道347号線 主要地方道川西小国線 主要地方道川西小国線 道路改築国道288号長井南バイパス 道路改築国道288号長井南バイパス 道路改築国道288号長井南バイパス	上山市脊天湯坂山 山形市陣場梅野木前1 尾花沢市大通寺 小国町胡桃平胡桃平II 小国町胡桃平胡桃平I 長井市今泉今泉金山窯跡 長井市河井源德原館 長井市今泉蛇崩窯跡	湯坂山 梅野木前1 大通寺 胡桃平II 胡桃平I 今泉金山窯跡 源德原館 蛇崩窯跡	○	○	○	○
9	都市公園整備事業 都市公園整備事業 都市計画道路事業	寒河江市島高瀬山 寒河江市島高瀬山古墳 高畠町高畠大在冢	高瀬山 高瀬山古墳 大在冢	○	○	○	

No	事業名	事業地区名	遺跡名	調査区分			
				A	B	C	立会
10	新井田川河川改修 急傾斜地崩壊対策事業	酒田市荻島 平田町山谷新田	船止 河内城	○	○		
11	急傾斜地崩壊対策事業 板谷通常砂防事業 大地蔵沢川通常砂防事業 大地蔵沢川通常砂防事業 大洞入沢通常砂防事業 西山沢通常砂防事業堤工 ウルイ沢通常砂防堤工	八幡町北青沢 米沢市古志田 米沢市市布 米沢市市布 米沢市鏡子屋敷 最上町上溝沢 舟形町堀内	青沢館 古志田 市布e 市布d 大洞 小松原A 手倉森	○	○		
12	八幡幹線用水路工事	八幡町市柔	橋掛	○	○		
13	国道13号上山バイパス 国道113号赤湯バイパス 国道113号赤湯バイパス 国道113号赤湯バイパス 国道13号主寝坂道路 国道13号主寝坂道路 国道13号主寝坂道路	上山市中山 南陽市大字高梨 南陽市大字鳥貴 南陽市大字鍋田 金山町中田 金山町中田 金山町中田	中山城跡 六角壇 百刈田 鷹の木館 下中田 高堂熊山麓 太郎水野1・2		○	○	
14	東北中央自動車道福島米沢開 東北中央自動車道福島米沢開 東北中央自動車道福島米沢開 東北中央自動車道福島米沢開	米沢市梓山 米沢市梓山 米沢市梓山 米沢市梓山	梓山d 梓山a 町在家館 可燃性地3		○	○	

表-2 平成15年度県内遺跡分布・試掘調査工程表

事業名	平成15年												平成16年		平成17年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月		
県農林・土木事業関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国土交通省・道路公団 東北農政局 他関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成15年度の埋蔵文化財包蔵 地に跨る調査事業新規の選択		—														
遺物資料整理										—			—	—	—	—
報告書原稿作成													—	—	—	—

II 調査の概要

1 遺跡地名表

(1) 県農林事業関係遺跡

No.	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
1	散布地	日 とう 塔 B	東根市大字東根	繩文時代 (後期)	扇状地 (101m)	果樹園
2	集落跡	蓮 ひい 台 寺	東村山郡山辺町大字大寺字蓮台寺	弥生時代 平安時代	台地 (133m)	学校敷地
3	包蔵地	てら 寺 台	最上郡戸沢村大字角川字寺台	繩文時代	台地 (135m)	畠水 通田
4	集落跡	こう さい いん けい 広院院境内	最上郡戸沢村大字角川字左越	繩文時代	段丘 (110m)	寺地
5	集落跡	かくわい こうがい こうこう うつ くわい 角川小学校校庭	最上郡戸沢村大字角川字左越 651の3	繩文時代	段丘 (90m)	旧学校敷地
6	散布地	しん 新地	東田川郡藤島町大字漆川字新地	繩文時代	丘陵 (30m)	畠水 薙地
7	集落跡	にし 西山	東田川郡藤島町大字漆川字西山	繩文時代 平安時代	丘陵 (40m)	畠水 樹木荒地
8	集落跡	なが 長者原	西置賜郡飯豊町大字小白川字長者原	繩文時代	段丘 (262m)	畠山 地林
9	散布地	櫻 代 F	東田川郡柳引町櫻代字外山道	繩文時代	丘陵 (245m)	畠地
10	散布地	櫻 代 G	東田川郡柳引町大字櫻代字西野	繩文時代	丘陵 (270m)	畠地
11	散布地	櫻 代 H	東田川郡柳引町大字櫻代字西野	繩文時代	丘陵 (280m)	畠地
12	散布地	たま おと おと 沼 B	東村山郡山辺町大字根跡	平安時代	山頂 (462m)	山林
13	寺院跡	光明寺跡	天童市川原子	江戸時代	段丘 (163m)	樹園地
14	散布地	よし の やま 1	上山市大字小倉字植ノ山	繩文時代	丘陵頂部 (418m)	畠水 地田
15	散布地	よし の やま 2	上山市大字小倉字植ノ山	繩文時代	丘陵頂部 (417m)	分校敷地 畠水
16	散布地	よし の やま 3	上山市大字小倉字植ノ山	繩文時代 奈良・平安時代	丘陵 (410m)	畠水
17	散布地	いも の やまと 壇 1	上山市大字小倉字一ノ壇	繩文時代 奈良・平安時代	丘陵 (431~445m)	畠水宅
18	散布地	いも の やまと 壇 2	上山市大字小倉字一ノ壇	繩文時代 (後・晚唐)	丘陵 (450m)	畠水宅
19	散布地	の て ぐら 手倉 1	上山市大字小倉字野手倉	奈良・平安時代	丘陵 (427m)	畠水
20	散布地	の もみ 合	上山市大字権現堂字森合	繩文時代	丘陵 (330m)	畠境

遺跡概要	出土遺物	備考
北緯38°26'26"、東経140°25'7"に位置し、日塔川の形成した扇状地に立地する。今日の工事立会の調査では遺物、遺構とも未検出である。	なし	No680 平成15年11月県教委立会調査
北緯38°18'9"、東経140°15'30"に位置し、旧大寺小学校跡地に所在する。公園整備の池の掘削地の立会であったが、挖乱層内で工事に留った。	なし	No347 平成15年8月県教委立会調査
沢内地区の西方、沢内川左岸沿いを上った段丘状の平坦面に位置する。範囲は、東西120m・南北250m。	フレイク1点、確認面61cm、試掘面積107m ² (対象面積約1,000m ²)	No1110 平成15年11月県教委試掘調査実施
本郷地区の南側、沢内川左岸沿いの段丘北端の寺院境内に位置する。範囲は、東西50m・南北100m。	なし	No1112
本郷地区の南西側、角川右岸沿いの道路東側の旧角川小学校跡地に位置する。現況は、整地された地形である。範囲は、東西・南北150m。	なし	No1113
北緯38°44'23"、東経139°57'29"に位置し、平野と丘陵の境界に立地する。試掘調査で東西40m・南北75mの範囲をもつと推定された。	縄文土器片	平成15年度登録
北緯38°44'15"、東経139°57'18"に位置し、庄内平野に隣接する丘陵に立地する。試掘調査で東西80m・南北250mの規模の集落となることが判明。	縄文土器片、剥片、赤焼土器片	No1736
JR米坂線手ノ駅の北東約1.5km、北流する白川左岸に位置する。試掘調査でピットを検出。範囲は、東西25m・南北25m。	フレイク2点、確認面9~36cm、試掘面積205m ² (対象面積約3,000m ²)	平成6年登録 平成15年7月県教委試掘調査実施
桃代分校の北方約400mに位置し、庄内平野を一望する台地に立地する。試掘調査で東西35m・南北40mの範囲を持つと推定された。	縄文土器片、剥片	平成15年度登録
桃代スキーパークから北西500mの丘陵頂部に立地する。農道の切り通し崖面に、土坑数基が断面で確認できる。	なし	平成15年度登録
桃代スキーパークから北西300mの丘陵に立地する。畠から黒曜石の剥片が多く量に散布するのが確認された。	剥片	平成15年度登録
北緯38°16'28"、東経140°12'54"に位置し、たぬ池の「玉虫沼」湖畔に立地する。今回の取付道路の建設に伴う立会調査での遺構・遺物とも未検出。	なし	No385 平成15年9月県教委立会調査実施
天童市街の北東6km、亂川の河岸段丘上に立地する。遺跡範囲西浦に、墓石が分布する区域があり、西に範囲が広がる可能性がある。	なし	No186
北緯38°9'48"、東経140°19'60"に位置し、旧小倉分校の西の丘陵地の頂部に立地する。東西100m・南北180mの範囲内に縄文時代の遺物が散布する。	縄文土器片、剥片	平成15年度登録
北緯38°9'49"、東経140°20'5"に位置し、旧小倉分校の敷地内を中心として東西100m・南北100mの範囲内に縄文時代の遺物が散布している。	縄文土器片、剥片	平成15年度登録
北緯38°9'31"、東経140°20'14"に位置する。東西60m・南北110m程の範囲をもつと考えられる。縄文土器と須恵器が採取された。	縄文土器片、須恵器片	平成15年度登録
北緯38°9'38"、東経140°20'25"に位置し、10mを超える標高差をもつ平地と台地の双方に遺物が散布する。	縄文土器片、石鏃、須恵器片	平成15年度登録
北緯38°9'43"、東経140°20'41"に位置し、尾根状に張り出す高台の畠地に縄文土器や剥片が散布する。範囲は東西150m・南北70m。	縄文土器片、剥片	平成15年度登録
北緯38°9'47"、東経140°20'15"に位置し、寺の南側の畠地内で土師器片を採取した。範囲は東西40m・南北50mと狭い。	土師器	平成15年度登録
北緯38°9'39"、東経140°19'32"に位置し、神社境内に隣接する畠地で縄文土器を採取した。範囲は東西70m・南北100mと推定される。	縄文土器	平成15年度登録

No	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
21	散布地	一 本 松	最上郡戸沢村大字戸沢字一本松	縄文時代	丘 陵 (50m)	烟 山 地 林
22	散布地	田 谷 B	東田川郡余目町大字西袋字田谷	平安時代	平 地 (12m)	宅 烟 水 地 地 田

(2) 県土木事業関係遺跡

No	種別	遺跡名	所 在 地	時 期	立 地	地 目
23	散布地	湯 坂 山	上山市弁天	奈良・ 平安時代	段 丘 (186m)	施設敷地
24	集落跡	梅 野 木 前 1	山形市大字江俣字梅ノ木前	古墳時代 平安時代	扇 状 地 端 (104m)	水 烟 田 地
25	散布地	七 色 船 1	尾花沢市大字尾花沢字七色船	縄文時代	段 丘 (115m)	烟 山 地 林
26	散布地	七 色 船 3	尾花沢市大字尾花沢字七色船	縄文時代 (後期)	段 丘 (110m)	烟 山 地 林
27	散布地	七 色 船 5	尾花沢市大字尾花沢字七色船	縄文時代	段 丘 (108m)	烟 栗 地 林
28	散布地	七 色 船 7	尾花沢市大字尾花沢字七色船	縄文時代	段 丘 (105m)	烟 地
29	散布地	胡 桃 平 I	西置賜郡小国町大字大石沢字胡桃平	縄文時代	山 薦 (230m)	荒 燕 地
30	生産跡	今 泉 金 山 窯 跡	長井市今泉字金山	平安時代	山 薦 (220m)	山 林
31	城館跡	源 德 原 館	長井市河井字若宮前	平安時代 戦国時代	平 地 (209m)	宅 烟 水 地 地 田
32	集落跡	高 潤 山	寒河江市大字寒河江他	平安時代	段 丘 (113m)	烟 草 地 地
33	集落跡	大 在 家	置賜郡高畠町大字高畠字大在 家他	奈良時代 平安時代 近 世	平 地 (225m)	宅 道 地 路
34	城館跡	河 内 城	炮海郡平田町	中 世	台 地 (40m)	山 林
35	城館跡	青 沢 館	炮海郡八幡町	中 世	山 薦 (140m)	烟 地
36	散布地	古 志 田	米沢市古志田	縄文時代	山 薦 (290m)	山 林
37	散布地	市 布 e	米沢市市布	縄文時代	山 薦 (340m)	山 林
38	散布地	市 布 d	米沢市市布	縄文時代	山 薦 (360m)	荒 燕 地
39	散布地	大 洞	米沢市李山字大洞寺下	縄文時代	山 薦 (395m)	山 烟 地 地
40	散布地	小 松 原 A	最上郡最上町上満沢	縄文時代	山 薦	山 林

遺跡概要	出土遺物	備考
蕨岡地区中心部より南西1kmの丘陵端部に立地する。埋地より、縄文土器片・剥片を採取した。範囲は東西160m・南北210m。	縄文土器・剥片	平成15年度登録
JR羽越本線西登駅の北東約600m、京田川右岸に広がる水田地帯に位置する。立会調査で須恵器採集。範囲は、東西80m・南北60m。	土師器、田谷集落東側用水路近くから須恵器壺1点採集。(対象面積約19,000m ²)	昭和59年登録 平成15年12月県教委立会調査実施

遺跡概要	出土遺物	備考
(財)山形県埋蔵文化財センター敷地内に立地する。収蔵庫建設中に須恵器片を採取した。近隣に須恵器窯跡の存在が想定される。	なし	平成15年度登録
北緯38°17'4" 東経140°18'52"に位置し、今回の試掘調査で平安時代の遺構面の下に古墳時代前期の包含層及び遺構群があることが判明。	土師器	平成3年度登録 平成15年8月県教委試掘調査実施
北緯38°36'46"、東経140°25'27"に位置し、河岸段丘の尾花沢I面に立地する。東西120m・南北60mの範囲内に遺物が散布している。	剥片	平成15年度登録
北緯38°37'5"、東経140°25'3"に位置し、尾花沢I面の舌状部に立地する。東西120m・南北120mの範囲内に遺物が散布している。	縄文土器片、石鉗、石匙、剝片	平成15年度登録
北緯38°36'58"、東経140°24'49"に位置し、尾花沢I面に立地する。畑地に遺物が散布しており、範囲は東西80m・南北100mと推定される。	削器、剥片	平成15年度登録
北緯38°36'52"、東経140°24'37"に位置し、尾花沢I面に立地する。東西120m・南北120mの範囲内に遺物が散布している。	縄文土器片、剥片	平成15年度登録
北緯37°58'12"、東経139°49'21"に位置し、大石沢右岸の丘陵端に立地する。今回の路線内の試掘調査では遺構・遺物とも未検出である。	なし	平成14年度登録 平成14年11月県教委試掘調査
北緯38°3'48"、東経140°3'13"に位置する。国道用地内での試掘では遺構・遺物とも未検出であった。	なし	長井市遺跡地図119 平成14年11月県教委試掘調査
北緯38°4'8"、東経140°2'52"に位置する。鶴の東南部の試掘で二次的に移動した平安時代の土器片が出土したが、遺構は確認できなかった。	須恵器、赤焼土器	山形県中世城館跡調査報告書209-094 H14.11.12月試掘
寒河江市地南側、最上川左岸沿いの高瀬山一帯に大きな広がりで分布する。試掘調査でピット確認。範囲は、東西1700m・南北820m。	須恵器1点、確認面15~84cm、試掘面積160m ² (対象面積約4,500m ²)	No430他 平成15年10月県教委試掘調査実施
高角小学校及び商店街、宅地一帯に位置する。県道沿いの試掘調査で柱穴、溝跡を検出。範囲は東西1m・南北100m。	陶器2点、確認面40~77cm、試掘面積26m ² (対象面積約1,500m ²)	平成3年度登録 平成15年10月県教委試掘調査実施
鷹尾山から峯崎に南西にのびる舌状台地に立地する。主郭跡、空堀など、比較的の良好に遺存する。	なし	山形県中世城館跡調査報告書464-006
国造344(青沢越)に面した山麓に立地する。青沢越の植群の中では1番東に位置する。小規模であるが、最上部に空堀、土塁が残る。	なし	山形県中世城館跡調査報告書462-007
JR米坂線南米沢駅の西2kmの山麓に立地する。今回依頼のあった区画は急峻な崖となってしまっており、遺構・遺物は確認されなかった。	なし	米沢市遺跡地図E-384
JR米坂線南米沢駅の南5kmの山麓に立地する。今回現地確認の踏査では、遺物は採取されなかった。	なし	米沢市遺跡地図E-117
JR米坂線南米沢駅の南6kmの山麓に立地する。市布e道路の上流部に位置する。今回の踏査では、遺物は採取されなかった。	なし	米沢市遺跡地図E-104
JR米坂線南米沢駅の南東6kmの山麓に立地する。今回の踏査では遺物は採取されなかった。	近世陶器片1点	米沢市遺跡地図E-124
JR陸羽東線向町駅の南4.5kmの山麓に立地する。今回の現地確認の踏査では、遺物は採取されなかった。	なし	No936

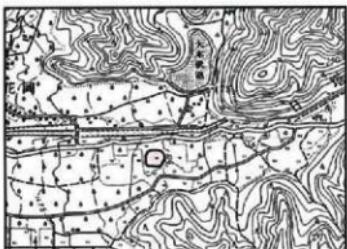
No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
41	城館跡	手倉森館跡	最上郡舟形町堀内	中世	段丘 (110m)	山林

(3) 農林水産省 東北農政局 事業関係遺跡

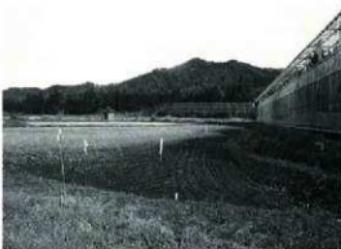
No.	種別	遺跡名	所在地	時期	立地	地目
42	集落跡	之々 懸 掛	磐梯 掛 21 郡八幡町大字市条字樋掛	平安時代 鎌倉時代	沖積地 (17m)	宅地 地地

遺跡概要	出土遺物	備考
小国川と最上川との合流点の左岸に立地する。今回の現地確認の踏査では、遺物は採取されなかった。	なし	No965

遺跡概要	出土遺物	備考
町役場の南西約1.2km、日向川左岸の集落南側と国道345号との間に分布する。試掘調査で河川跡？を検出。範囲は東西300m・南北300m。	土師器、須恵器、磁器、確認面75~103cm、試掘面積23m ² (対象面積約350m ²)	No2272 平成15年6月県教委試掘調査実施



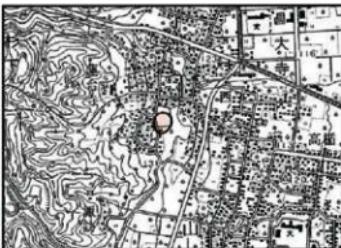
日塔B遺跡



日塔B遺跡調査対象地区



日塔B遺跡南トレンチ全景



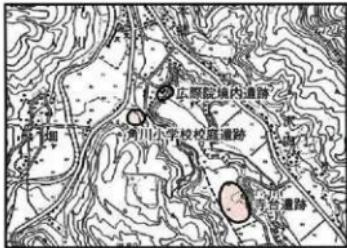
蓮台寺遺跡



蓮台寺調査区全景（西から）



蓮台寺調査トレンチ全景



寺台遺跡・広際院境内遺跡・角川小学校校庭遺跡



寺台遺跡近景（南から）



寺台遺跡出土遺物



広際院境内遺跡近景（北から）



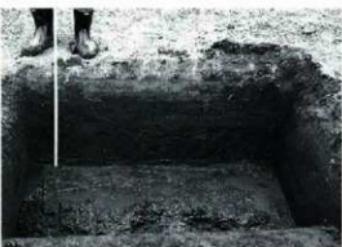
角川小学校校庭遺跡近景（北東から）



新地遺跡・西山遺跡



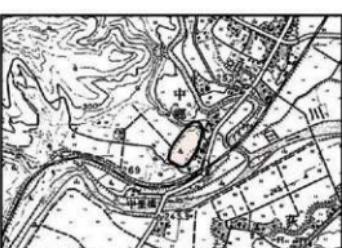
新地遺跡遠景（南西から）



新地遺跡TP2土層断面



西山遺跡出土遺物



長者原遺跡



長者原遺跡近景（南から）



長者原遺跡出土遺物



櫻代F・G・H遺跡



櫻代F遺跡近景



櫻代G遺跡切り通し土坑断面



櫻代H遺跡遠景



櫻代H遺跡剥片出土状況



櫻代H遺跡採取遺物



玉虫沼B遺跡



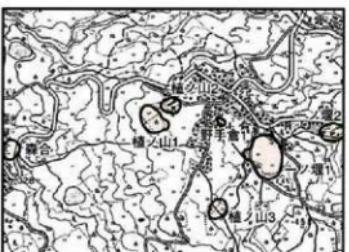
玉虫沼B遺跡近景



光明寺跡



光明寺跡近景（北から）



植ノ山1・2・3遺跡・一ノ塚1・2遺跡・野手倉1遺跡・森合遺跡



植ノ山3遺跡遠景（西から）



植ノ山1遺跡遠景（南南東から）



植ノ山2遺跡近景（南から）

遺跡地名表 位置図・図版4 (県農林事業関係遺跡)



植ノ山1遺跡採集縄文土器

植ノ山2遺跡採集縄文土器



植ノ山3遺跡採集須恵器

植ノ山1遺跡採集剥片



一ノ塚1遺跡遠景（西から）



一ノ塚2遺跡遠景（南東から）



一ノ塚2遺跡近景（南東から）



可能性地1近景（南西から）



一ノ塙 1 遺跡採取縄文土器



一ノ塙 2 遺跡採取縄文土器



一ノ塙 1 遺跡採取石器



野手倉 1 遺跡近景（南東から）



野手倉 1 遺跡採取土師器



森合遺跡遠景（北西から）



森合遺跡採取縄文土器



田谷 B 遺跡



田谷B遺跡近景（南から）



田谷B遺跡出土遺物



湯坂山遺跡



湯坂山遺跡近景



梅野木前1遺跡



梅野木前1遺跡古墳時代包含層調査状況（南西から）



梅野木前1遺跡古墳時代土師器出土状況



胡桃平1遺跡



胡桃平 I 遺跡試掘近景（西から）



胡桃平 I 遺跡試掘トレンチ



源徳原館跡・今泉金山廃跡



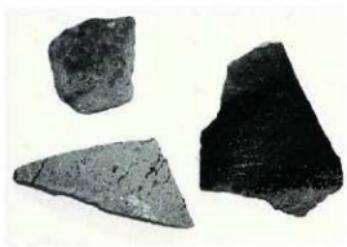
今泉金山廃跡調査対象区



今泉金山廃跡 T T 5 全景



源徳原館跡遠景



源徳原館跡 T T 4 出土遺物



高瀬山道跡



高瀬山道路調査区近景（東から）



高瀬山遺跡出土遺物



大在家遺跡



大在家遺跡近景（南から）



大在家遺跡 T 2-E P・SD (西から)



河内城跡



青沢鉢跡

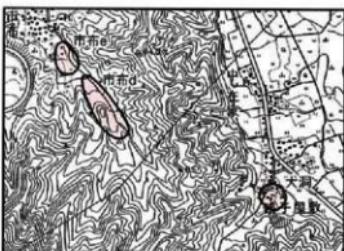


古志田遺跡

遺跡地名表 位置図・図版 9 (県土木事業関係遺跡)



古志田遺跡近景



市布d・e遺跡・大洞遺跡



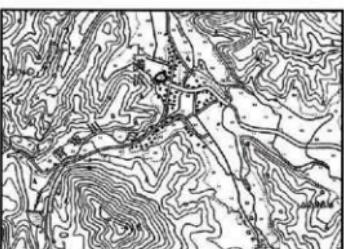
市布d遺跡近景



市布e遺跡近景



大洞遺跡近景



小松原A遺跡



小松原A遺跡近景



手倉森遺跡



手倉森跡跡



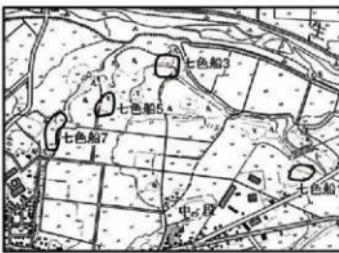
七色船遺跡



七色船遺跡調査区近景（北から）



七色船遺跡出土遺物



七色船1・3・5・7遺跡



七色船1遺跡（西から）



七色船1遺跡近景（東から）



七色船3遺跡近景（南西から）

遺跡地名表・位置図・図版11（農林水産省関係遺跡、県土木事業関係遺跡）



七色船 5 遺跡近景（南から）



七色船 7 遺跡近景（南東から）



七色船 1 遺跡採取遺物



七色船 3 遺跡採取遺物



七色船 5 遺跡採取遺物



七色船 7 遺跡採取遺物



一本松遺跡



一本松遺跡近景

遺跡地名表・位置図・図版12 (県土木事業関係遺跡、県農林事業関係遺跡)

2 試掘調査の概要

(1) 長瀬本橋跡 (遺跡番号722 中世城館遺跡調査報告書登録番号211-016)

所 在 地 山形県東根市大字長瀬字本橋

調 査 員 名和達朗

調 査 期 日 試掘調査 平成15年11月20日、12月25日

立会調査 平成16年1月19~21・23日

起 因 事 業 一般農道整備事業支線14号 長瀬西部2期地区

遺 跡 環 境 北流する最上川の右岸と白水川の合流部北東約1.5km、旧河地形東側の自然堤防状に立地する。標高は、80mを測る。地目は、畑地、水田である。

試 掘 区 農道計画内に係る遺跡範囲に試掘トレーンチT1~5を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

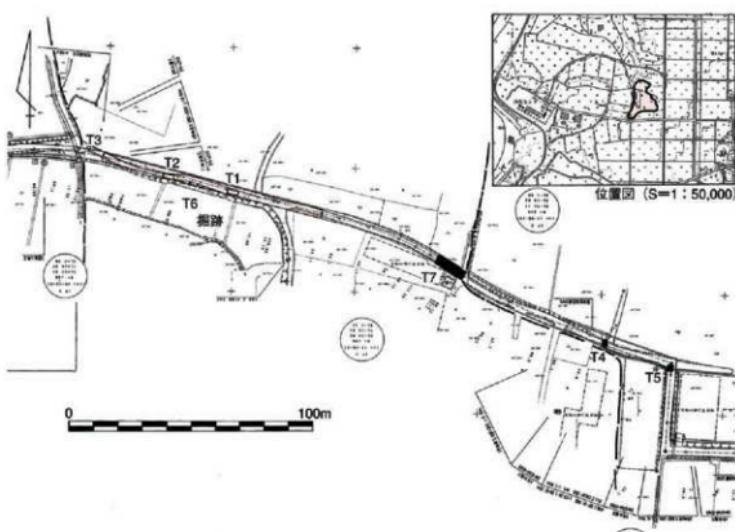
試 掘 面 積 25m² (対象面積約1,800m²) 立会調査面積 619m²

検 出 遺 構 T1から溝跡?・柱穴、T3から溝跡、立会調査では、T6の範囲から竪穴住居跡、土壙、焼塗土壙、溝跡、柱穴、性格不明遺構を検出。確認面は、18~71cm。

出 土 遺 物 試掘調査では、T1・2から土器、立会調査では、土師器、鉄滓出土。

時 代 奈良・平安時代(集落跡)、中世(城館跡)

所 見 遺跡範囲は、立地地形を考慮すると東西320m・南北420mが推定される。事業に係る集落跡範囲については、遺跡に影響を及ぼさない工法により立会調査を実施した。



第1図 長瀬本橋跡概要図



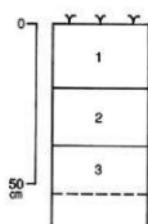
調査区近景（西から）



振跡北東隅（北から）



遺物検出状況（Na16付近、東から）



土層柱状図（Na16東側）



土層断面（Na16付近、南から）

図版 1 長渓本振跡遺跡

(2) 大道寺遺跡(遺跡番号2339)

所在 地 山形県尾花沢市大字尾花沢字大道寺

調査員 渋谷孝雄 名和達朗

調査期日 現地確認 平成15年9月24日 試掘調査 平成15年10月2・3日

起因事業 道路改築事業一般国道347号線

遺跡環境 北緯38°36'56"、東経140°24'29"に位置し、標高103mの河岸段丘の尾花沢I面に立地する。地目は段丘崖の近くが杉林、平坦部は畠地である。

試掘区 計画路線のセンターに沿って幅1.5mの試掘溝を設定した。ただし、調査前に地権者によって表土が取られていた箇所で路線の幅近辺に設定したものがある。

試掘方法 バックホーを使用し、徐々に掘り下げる、最終的には人力で面削りを行い、出土遺物を取り上げ、検出された遺構の平面略測図と土層断面図を作成した。

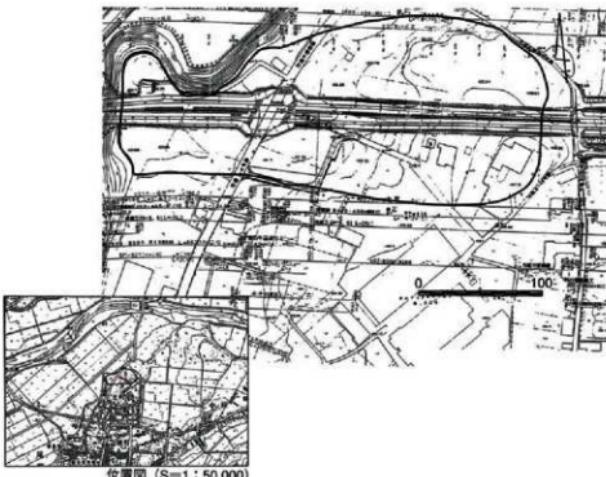
試掘面積 280m²

検出遺構 市道牛房野線の西側では縄文時代の落し穴と土坑及び中世以降の土坑や溝、ピットが検出され、市道の東では土坑、落ち込み、落し穴、ピット等縄文時代の遺構が検出された。

出土遺物 縄文時代前期の土器と、石匙や石鏡、磨石、凹石が整理箱に1箱分出土した。

時代 縄文時代前期

所見 調査の結果、遺跡の範囲は路線内で東西350mの範囲となることが明らかとなった。表土が除去された部分は遺物包含層も失われたが、表土の残る部分には包含層が認められる。検出した遺構から縄文時代前期の集落跡、及び中世城館があったと考えられる。



第2図 大道寺遺跡概要図



大道寺遺跡近景（西から）



大道寺遺跡No.164～163間の溝跡検出状況（北から）



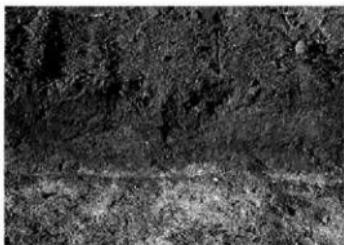
大道寺遺跡No.165～164拡張区の落し穴・土坑・溝跡（南西から）



大道寺遺跡No.172～171間北トレの遺構群検出（南西から）



大道寺遺跡No.176～175の包含層検出（西から）



大道寺遺跡No.177付近土層断面（東から）



No.174～175間の土器



大道寺遺跡No.174～175間の石匙と石鎧

図版2 大道寺遺跡

(3) 胡桃平II遺跡 (平成14年度登録)

所 在 地 山形県西置賜郡小国町大字大石沢字馬場

調 査 員 渋谷孝雄

試 挖 調 査 平成15年5月20日

起 因 事 業 主要地方道 川西小国線

遺 跡 環 境 北緯 $37^{\circ}58'12''$ 、東経 $139^{\circ}49'24''$ に位置し、標高218mの低位段丘に立地する。地目は畑地と水田である。

試 挖 区 計画路線内に幅1.2mの試掘溝を3本設定した。

試 挖 方 法 遺物包含層の上面もしくは遺構確認面までバックホーで掘り下げ、その後、人力で面削りと一部包含層の掘り下げを行い、出土遺物を取り上げ、検出された遺構の平面略図と土層断面図を作成した。

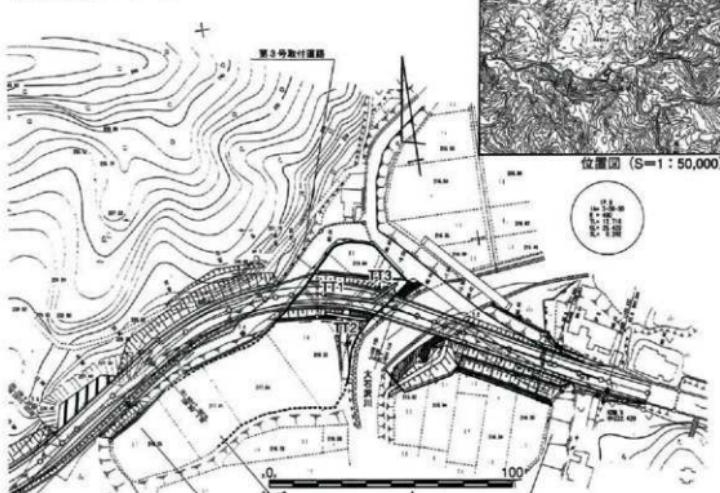
試 挖 面 積 56m²

検 出 遺 構 現地表下10~35cmの深さにある地山面で直径20~50cmのピットが多数検出された。このピット群は3つの試掘溝のすべてから密集して発見された。

出 土 遺 物 純文時代前期の土器と尖頭器のほか剝片が3袋出土した。

時 代 純文時代前期 中世以降

所 見 調査の結果、遺跡の範囲は東西50m、南北30mの範囲となることが推定され、その内の約500m²が事業区内に入ることが明らかとなった。多数発見されたピット群は字名の馬場に関連する中世以降の所産とみられる。なお、この部分を対象に7~8月に緊急発掘調査を行っている。



第3図 胡桃平II遺跡概要図



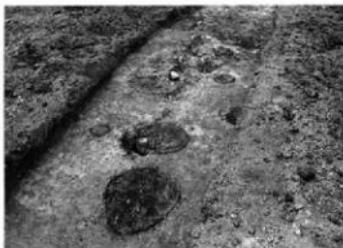
胡桃平II遺跡TT1全景（南から）



胡桃平II遺跡TT1中央部柱穴群（南から）



胡桃平II遺跡TT2全景



胡桃平II遺跡TT2中央部柱穴検出（南西から）



胡桃平II遺跡TT3包含層上面調査状況（東から）



胡桃平II遺跡TT3包含層の分布（西から）



胡桃平II遺跡TT3土層断面（南から）



胡桃平II遺跡TT3両面加工尖頭器出土状況（西から）

図版3 胡桃平II遺跡

(4) 蛇崩窓跡 (長井市遺跡地図116)

所在地 山形県長井市今泉

調査員 洪谷孝雄

調査期日 試掘調査 平成15年11月12日

起因事業 主要地方道 川西小国線

遺跡環境 北緯38°3'57"、東経140°3'10"に位置し、標高226mの丘陵西斜面に立地する。地目は山林と畑地、果樹園である。

試掘区 計画路線内に幅1.8mの試掘溝を12本設定した。

試掘方法 地山の褐色粘土層までバックホーで掘り下げ、その後、人力で面削りを行い出土した遺物を取り上げ、検出された遺構の平面略測図と土層断面図を作成した。

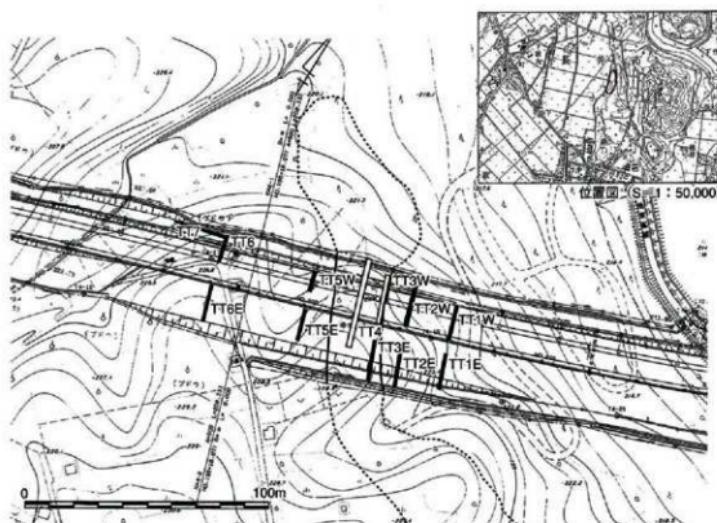
試掘面積 375m²

検出遺構 TT4の現地表下20cmの地山面で幅1.3mの須恵器の登窓が1基検出された。他の遺構はない。

出土遺物 TT4の登窓の周辺から須恵器片が整理箱に1／2程出土した。TT5でも須恵器片1点が出土した。

時代 平安時代

所見 調査の結果、計画路線内で須恵器の登窓1基が検出された。焚き口や灰原は路線外となる。路線内に複数の窓跡が存在する可能性は低いと考えられる。



第4図 蛇崩窓跡概要図



蛇崩窯跡遠景（南東から）



蛇崩窯跡近景（北西から）



蛇崩窯跡 T T 4 爐跡検出状況（西から）



蛇崩窯跡須恵器窯跡検出状況（南東から）



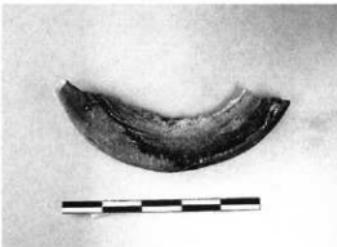
蛇崩窯跡 T T 3 W 出土須恵器



蛇崩窯跡 T T 4 出土須恵器

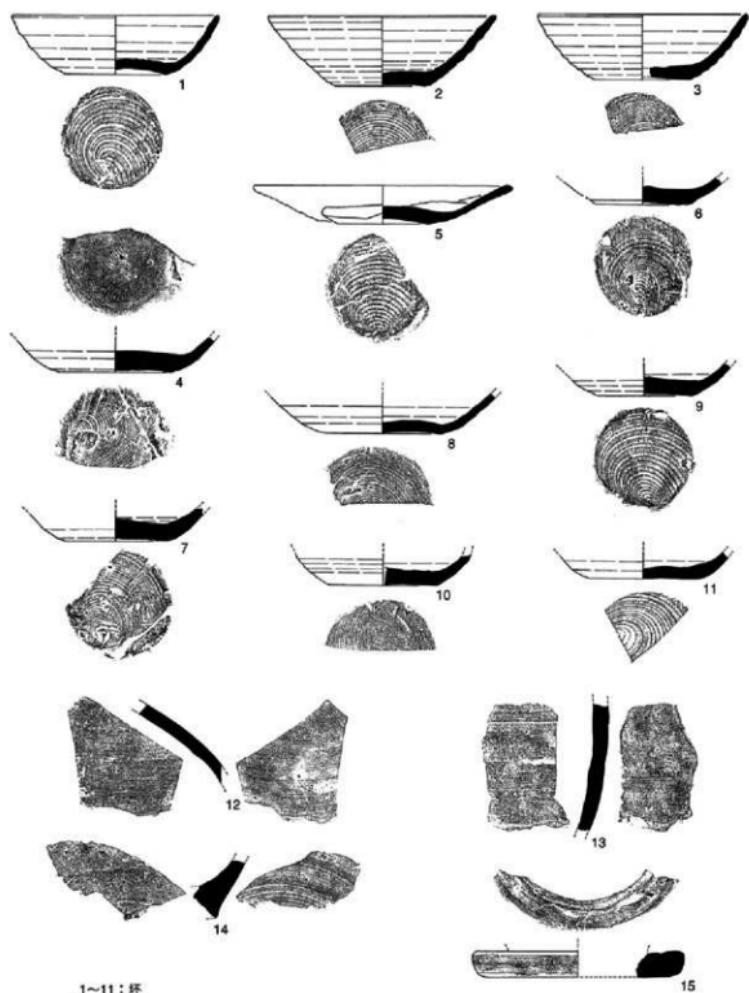


蛇崩窯跡出土須恵器



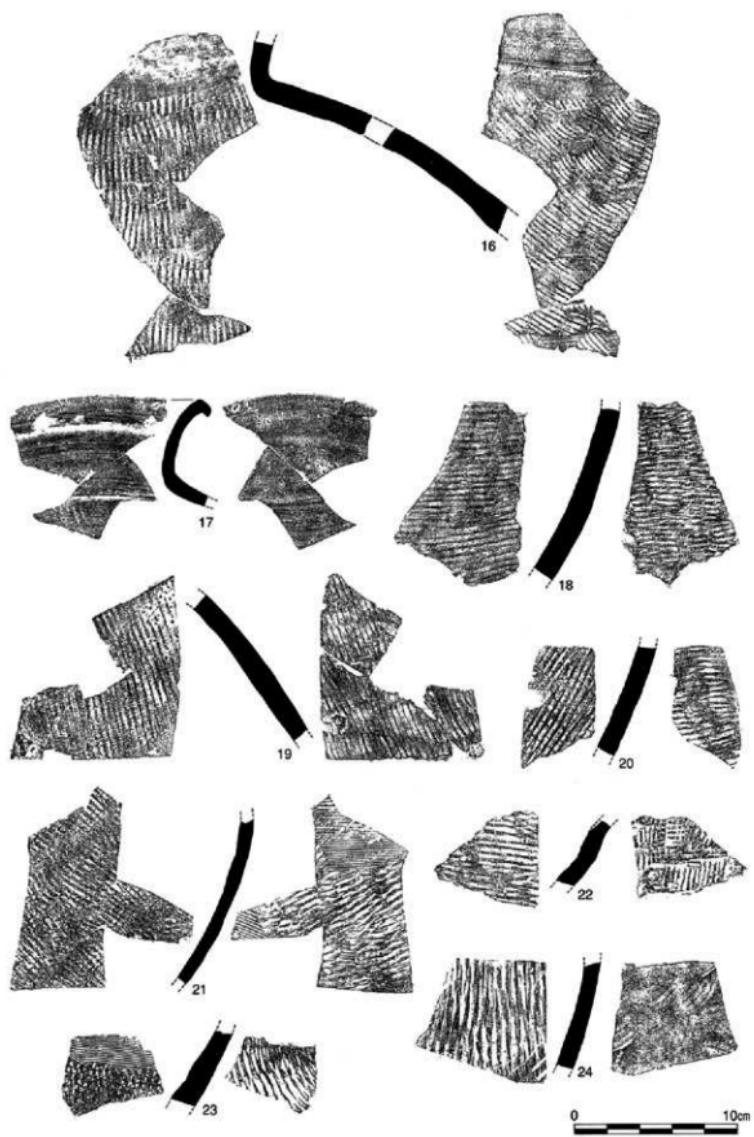
蛇崩窯跡出土須恵器

図版4 蛇崩窯跡



0 10m

第5図 蛇崩窓跡出土須恵器実測図 (1)



第6図 蛇崩窯跡出土須恵器実測図（2）

(5) 船止遺跡（遺跡番号2023）

所 在 地 山形県酒田市大字漆曾根

調 査 員 名和達朗

調 査 期 日 現地確認 平成15年11月12日 試掘調査 平成15年11月21日

起 因 事 業 新井田川基幹河川改修事業

遺 跡 環 境 漆曾根集落の南西約600m、西流する新井田川に架かる船止橋の西側に位置する。河川を含む両岸の平地が分布範囲である。標高は、2 mを測る。地目は、水田である。

試 掘 区 河川改修事業に係る遺跡範囲に試掘トレンチ3ヶ所を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

試 掘 面 積 108m²（対象面積約1,400m²）

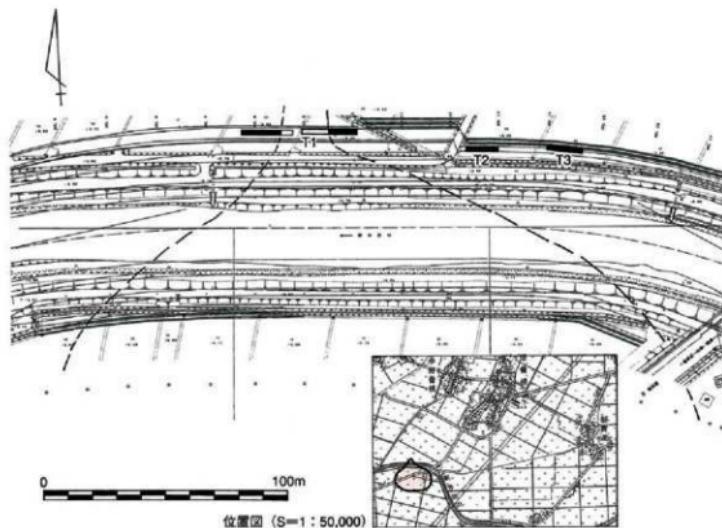
検 出 遺 構 T 1 から溝跡を検出。確認面は、41cm。

出 土 遺 物 T 1 から土器4点出土。

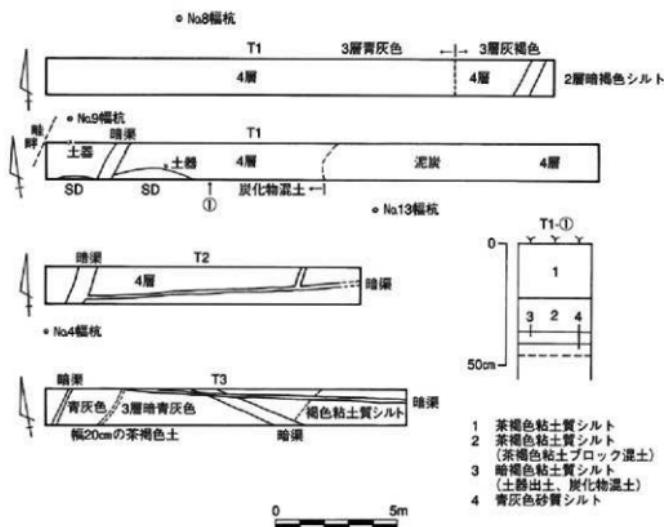
時 代 平安時代～鎌倉時代（集落跡）

所 見 調査の結果、工事用幅杭No 8 東側～No10西側の範間に遺構・遺物が確認された。遺跡範囲は、平成元年度の分布調査による確認範囲を含めると東西370m・南北300mが考えられる。事業計画区域は遺跡範囲内であり、本遺跡について土木工事等を実施する際は、保存のための協議が必要である。

山形県教育委員会 1990年3月 山形県埋蔵文化財調査報告書第148集「分布調査報告書（17）」



第7図 船止遺跡概要図



第8図 船止遺跡調査平面・断面略図



調査区近景（西から）



T1-②付近（西から）



T1-②（南から）



船止遺跡出土遺物

図版5 船止遺跡

(6) 県指定史跡高瀬山古墳遺跡（遺跡番号429）

所在 地 山形県寒河江市高瀬山

調査員 現地確認 名和達朗・久連山幸子 試掘調査 名和達朗・高橋敏

調査期日 現地確認 平成15年11月5日 試掘調査 平成15年12月15~17日

起因事業 都市公園整備事業最上川ふるさと公園

遺跡環境 寒河江市街地の南西方向で、東流する最上川に架かる高瀬大橋左岸から北西約150mの段丘面に位置する。標高は、113mを測る。地目は、畑地である。

試掘区 古墳の範囲確認のため、史跡指定地外の想定墳丘外周に放射状に試掘トレンド8ヶ所を設定。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。

試掘面積 116m²（対象面積約1,000m²）

検出遺構 T1~8の全てから周溝と考えられる溝跡を検出。確認面は、26~63cm。

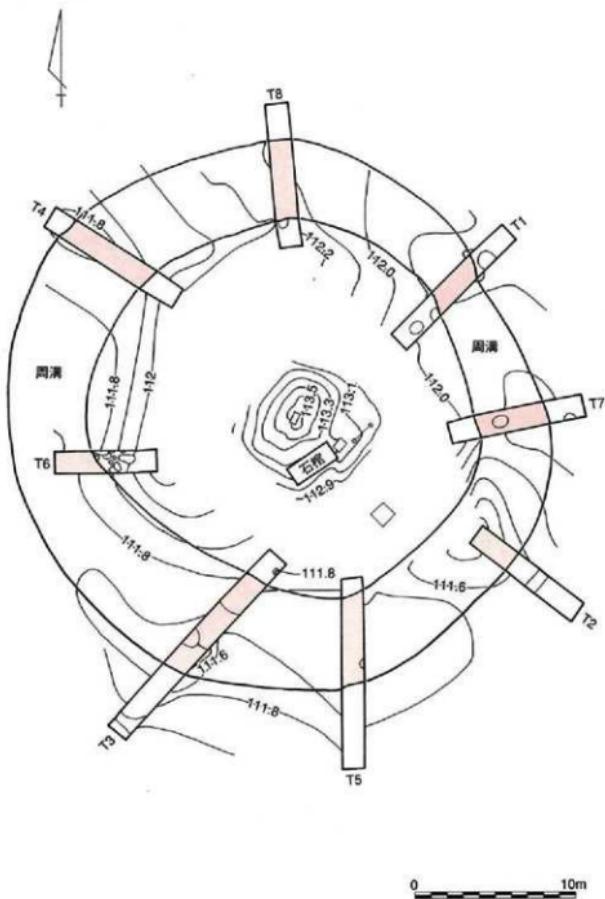
出土遺物 T1から須恵器、T3から縄文土器1点・フレイク4点・土師器1点、T4からフレイク5点・須恵器1点、T7から縄文土器2点・両黒土師器1点出土。

時代 縄文時代・奈良・平安時代（集落跡）、古墳時代（墳墓）

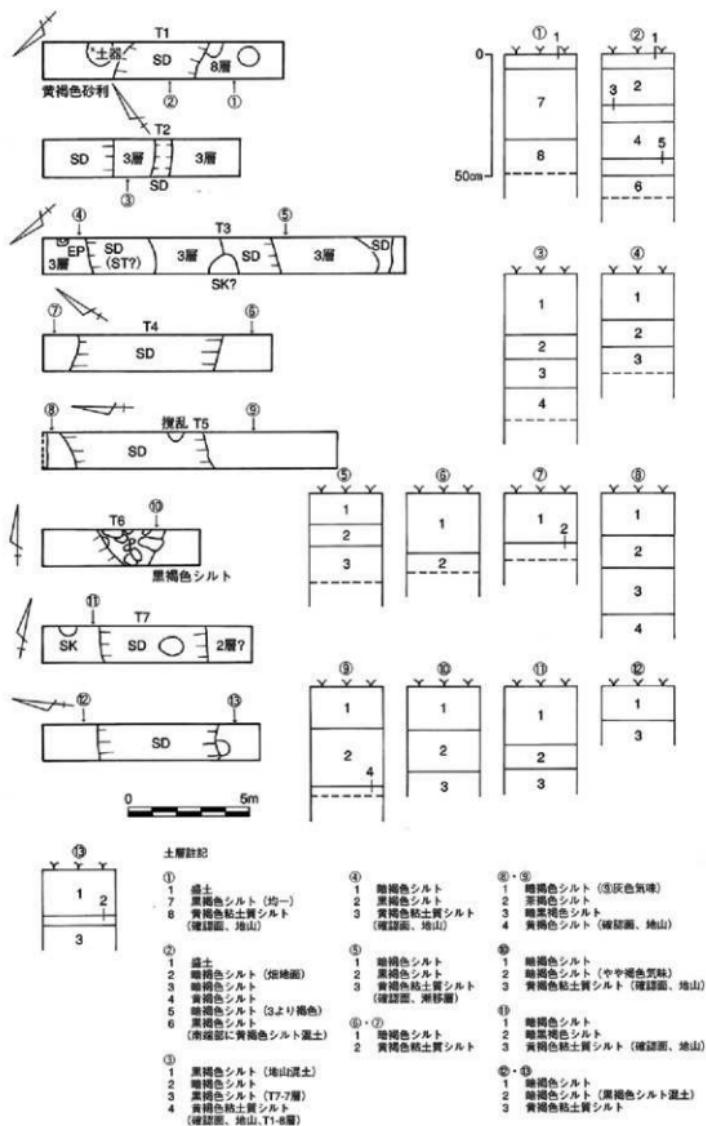
所見 墳丘外周を円形に廻る周溝平面が検出され、周溝幅5m前後、内径23m前後、外径34m前後、周溝内径の地表面から墳頂までの高さ1.3mを測る。調査の結果、高瀬山古墳は、周溝をともなう直径34mの円墳で、県指定史跡外まで広がる範囲が確認された。



第9図 県指定史跡高瀬山古墳概要図



第10図 高瀬山古墳調査平面略図



第11図 高瀬山古墳調査平面断面図



高瀬山古墳近景（南西から）



高瀬山古墳近景（南東から）

図版6 高瀬山古墳1



T 1-SD (南西から)



T 1-① (南東から)



T 2-SD (北西から)



T 2-③ (北東から)



T 3-SD (南西から)



T 3-④ (北西から)



T 4-SD (北西から)



T 4-⑥ (南西から)

図版7 高瀬山古墳2



T 5-SD (南から)



T 5-⑨ (西から)



T 6-SD (北西から)



T 7-SD (東から)



T 7-⑪ (北から)



T 8-⑬ (西から)



T 8-SD・SK (北から)



高瀬山古墳出土須恵器

図版8 高瀬山古墳3

(7) 中山城跡 (山形県中世城館跡調査報告書207-001)

所 在 地 山形県上山市大字中山字天守山他

調 査 員 渋谷孝雄

調 査 期 日 試掘調査 平成15年11月27~28日

起 因 事 業 一般国道13号上山バイパス

遺 跡 環 境 主郭は北緯 $38^{\circ}7'35''$ 、東経 $140^{\circ}12'44''$ の標高344mの山頂に位置し、地目は山林と畠地、宅地となっている。中山城は連郭式の山城であり、今回の調査対象地は近世の米沢藩の北辺の守りとなった家中屋敷がおかれたところである。

試 掘 区 計画路線内に幅1.6mの試掘溝を10本設定した。

試 掘 方 法 造構が確認される面までバックホーで徐々に掘り下げ、その後、人力で面削りを行い出土した遺物を取り上げ、検出された造構の平面略測図と土層断面図を作成した。

試 掘 面 積 210m²

検 出 遺 構 各試掘溝で遺構が検出されており、ピットが合わせて51基、土坑が36基、溝跡が延長71m検出された。また、数箇所で整地層が確認された。これらの多くは近世の所産とみられる。

出 土 遺 物 7箇所の試掘溝で近世の陶磁器片が出土した。

時 代 江戸時代

所 見 調査の結果、計画路線内には主に近世と考えられる遺構が多数検出された。この中に中世まで遡るものがあるかどうかは不明だが、米沢藩北辺の陣屋跡として貴重な遺構と考えられる。



第12図 中山城跡概要図



中山城跡試掘予定地近景（北から）



中山城跡TT1全景（南から）



中山城跡TT2全景（南から）



中山城跡TT4全景（北から）



中山城跡TT5検出状況（南から）



中山城跡TT7全景（北から）



中山城跡TT10土色変化（北から）



中山城跡TT8中央北より検出状況（北西から）

図版9 中山城跡

(8) 六角墳遺跡 (平成4年度登録)

所 在 地 山形県南陽市大字萩生田

調 査 員 名和達朗、高橋 敏

調 査 期 日 試掘調査 平成15年8月4～5日

起 因 事 業 国道113号赤湯バイパス

遺 跡 環 境 南陽市立沖郷中学校西側、旧吉野川河岸段丘面に立地する。標高は、219mを測る。地目は、水田・樹園地である。

試 掘 区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレント5ヶ所を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

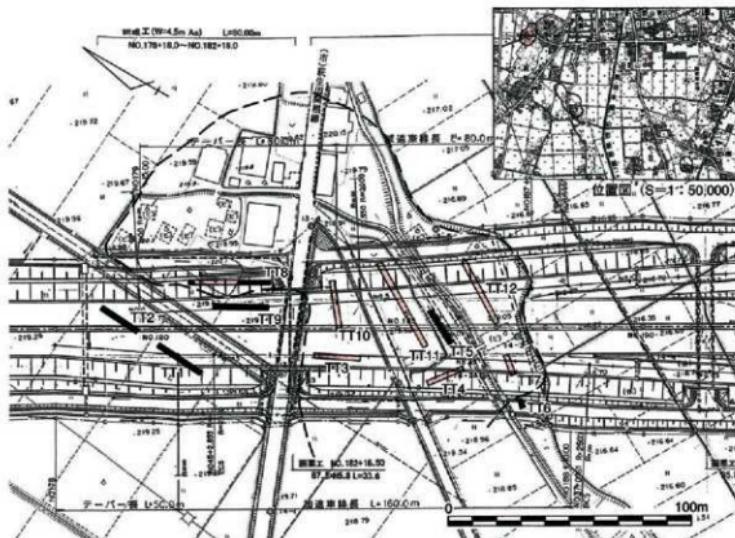
試 掘 面 積 217m² (対象面積約9,500m²)

検 出 遺 構 TT 8からピット・溝跡、TT 10、11からピット、TT 12からピット・土坑・溝跡を検出。遺構・遺物確認面は、40～60cm。

出 土 遺 物 TT 8から土師器、TT 11から土師器片、TT 12から須恵器片出土。

時 代 奈良・平安時代

所 見 北側の集落寄りに東西100m・南北210mの遺跡範囲が確認された。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



(9) 百刈田遺跡（平成14年度登録）

所 在 地 山形県南陽市大字島貫字百刈田

調査員 名和達朗、高橋 敏

調査期日 試掘調査 平成15年7月11日、8月6～7日

起因事業 国道113号赤湯バイパス改築事業

遺跡環境 市街地南側約500m、東西に位置するJR奥羽本線と市立沖郷小学校間の沖積地に立地する。標高は、217mを測る。地目は、水田・樹園地である。

試掘区 事業予定地内の遺跡可能性地範囲に試掘トレーンチ8ヶ所を設定。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。

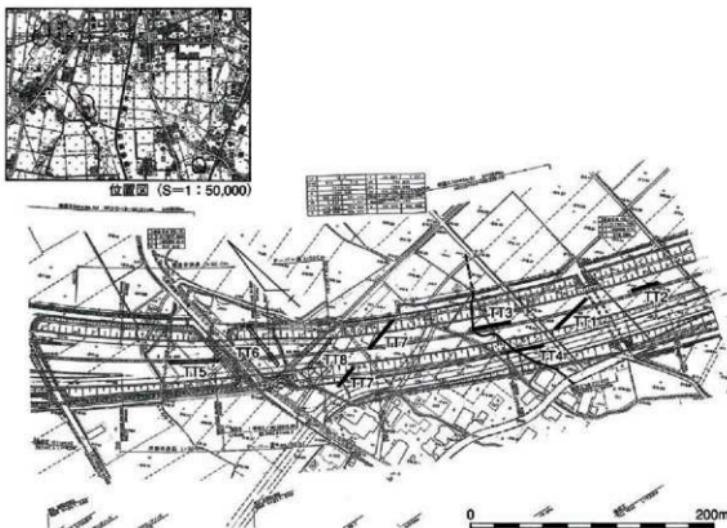
試掘面積 431m² (対象面積約30,000m²)

検出遺構 TT3・4からピット・溝跡、TT5から竪穴住居跡・溝跡、TT6・8からピット・土坑・溝跡を検出。遺構・遺物確認面は、30～60cm。

出土遺物 TT3・4から須恵器・土師器片、TT5から柱根・須恵器・土師器片出土。

時代 奈良・平安時代

所見 既確認範囲の南東側に300m延長する形で遺跡範囲が確認された。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。TT8南側の樹園地は試掘未実施であり、次年度以降試掘調査が必要である。



第14図 百刈田遺跡概要図

(10) 鶴の木館跡 (山形県中世城館跡遺跡調査報告書遺跡番号213-033)

所 在 地 山形県南陽市大字鍋田字鶴ノ木

調 査 員 名和達朗、高橋 敏

調 査 期 日 試掘調査 平成15年8月8、11~12日

起 因 事 業 国道113号赤湯バイパス

遺 跡 環 境 市街地南側約1.5km、東西に位置する組柳地区と中ノ目地区間の平地に立地する。標高は213mを測る。地目は、水田・樹園地である。

試 掘 区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ13ヶ所を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

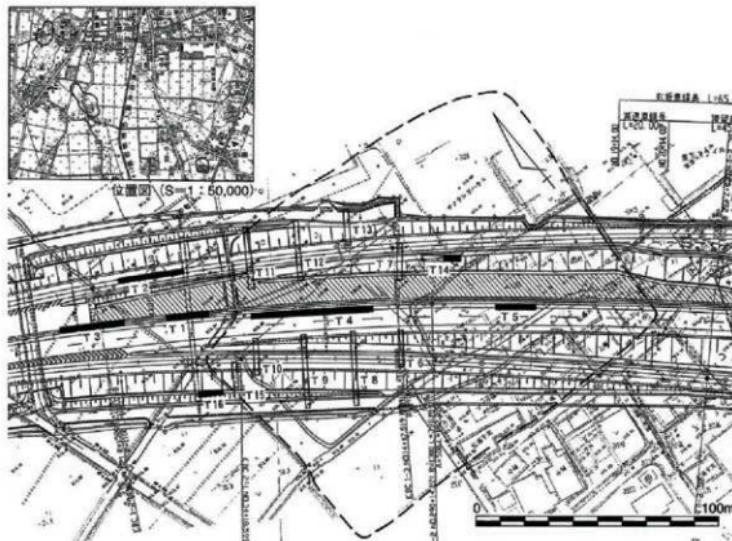
試 掘 面 積 410m² (対象面積約14,600m²)

検 出 遺 構 T T 6 ~15からピット・溝跡等を検出。遺構・遺物確認面は、25~40cm。

出 土 遺 物 T T 6 から土師器、T T 9~10から須恵器片、T T 11~13から土師器片出土。

時 代 古墳・奈良・平安時代

所 見 市道東側樹園地の、東西170m・南北180mが遺跡範囲と推定される。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



第15図 鶴の木館跡概要図



六角塙遺跡近景



六角塙遺跡 TT 10



百刈田遺跡近景



百刈田遺跡 TT 5



鶴の木館跡近景



鶴の木館跡 TT 6



六角塙遺跡出土遺物



百刈田遺跡出土遺物

図版10 六角塙遺跡・鶴の木館跡・百刈田遺跡

(11) 下中田遺跡 (しもなかだ いせき) (平成15年度新規登録)

所 在 地 山形県最上郡金山町大字中田字下中田

調 査 員 渋谷孝雄、高橋 敏

調 査 期 日 現地確認 平成15年5月9日

試掘調査 平成15年5月28~30日、6月2~3日

起 因 事 業 一般国道13号 主対応道路事業

遺 跡 環 境 外沢川と中田春木川との合流地点の低位段丘上に立地する。標高は165mを測る。地目は水田である。

試 掘 区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ4ヶ所を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

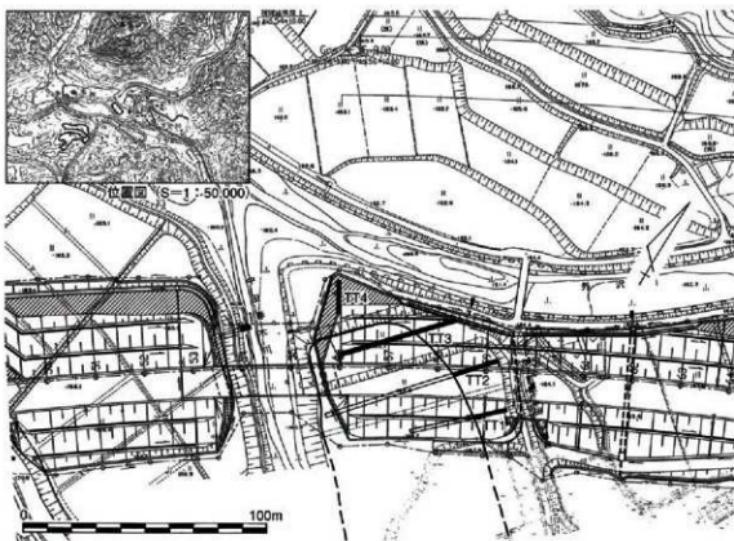
試 掘 面 積 266m² (対象面積約2,400m²)

検 出 遺 構 TT1~2でピット・土坑・竪穴住居跡を検出。遺構・遺物確認面は、25~30cm。

出 土 遺 物 TT1・2から縄文土器片出土。

時 代 縄文時代

所 見 段丘上に東西100m以上・南北60mの遺跡範囲が確認された。縄文時代後~晚期の集落跡と考えられるが、開田などにより一部削平された可能性がある。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



第16図 下中田遺跡概要図

(12) 太郎水野1遺跡 (平成15年度新規登録)

所 在 地 山形県最上郡金山町大字中田字太郎水野544-4

調 査 員 渋谷孝雄、高橋 敏

調 査 期 日 現地確認 平成15年5月9日

試掘調査 平成15年5月28~30日、6月2~3日

起 因 事 業 一般国道13号 主寝坂道路事業

遺 跡 環 境 中田春木川左岸の丘陵上に立地する。標高は219mを測る。地目は山林(杉林)である。

試 掘 区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ9ヶ所、試掘坑5ヶ所を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

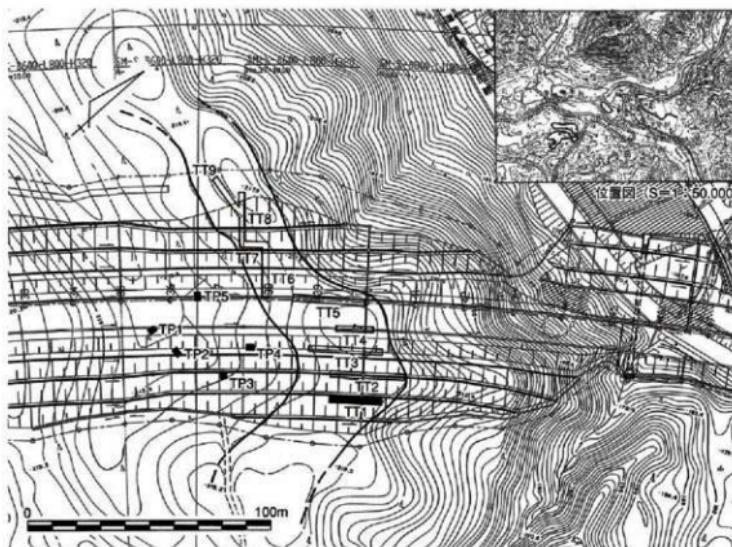
試 掘 面 積 380m² (対象面積約4,600m²)

検 出 遺 構 TT 2~9でピット・土坑・竪穴住居跡・落ち込みを検出。遺構・遺物確認面は、20~35cm。

出 土 遺 物 TT 2・3から剥片、TT 4から縄文土器片、剥片出土。

時 代 縄文時代

所 見 丘陵頭部に東西140m以上・南北45mの遺跡範囲が確認された。拠点的な集落とはならず、キャンプサイト的な性格と考えられる。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



第17図 太郎水野1遺跡概要図

(13) 太郎水野 2 遺跡 (平成15年度新規登録)

所 在 地 山形県最上郡金山町大字中田字太郎水野770-47外

調 査 員 渋谷孝雄、高橋 敏

調査期日 現地確認 平成15年5月9日 試掘調査 平成15年5月28~30日、6月2~3日

起因事業 一般国道13号 主寝坂道路事業

遺跡環境 中田春木川左岸の丘陵上に立地する。標高は165mを測る。地目は山林(杉林)である。

試掘区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ 8ヶ所を設定。

試掘方法 重機+人力で試掘調査を実施。

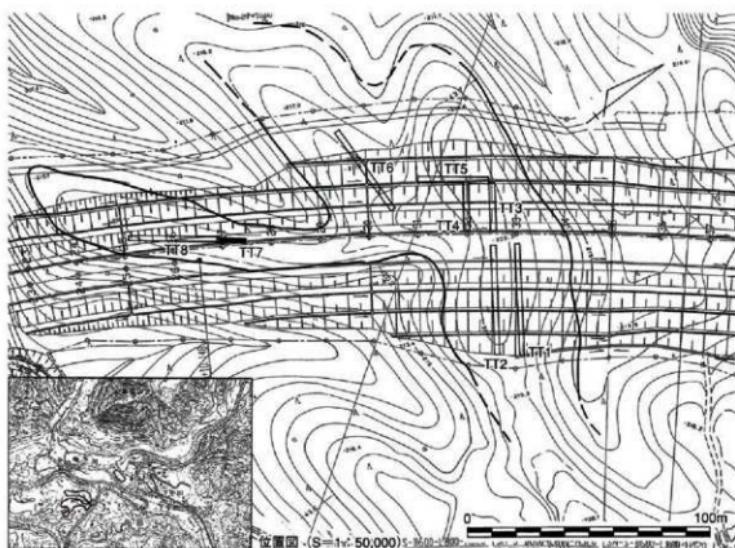
試掘面積 463m² (対象面積約2,400m²)

検出遺構 TT 1~6・8でビット・土坑・堅穴住居跡・落ち込みを検出。遺構・遺物確認面は、8~30cm。

出土遺物 TT 1・2から縄文土器片、TT 3から縄文土器片・剥片、TT 6から石皿、TT 8から凹石出土。

時代 縄文時代

所見 丘陵頂部に東西140m以上・南北180mの遺跡範囲が確認された。撿点集落とはならないが、やや長めの滞在期間があったと考えられる。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



第18図 太郎水野 2 遺跡概要図



下中田遺跡遠景（南から）



下中田遺跡T.T.1溝状遺構（北から）



太郎水野1遺跡近景



太郎水野2遺跡近景



太郎水野2遺跡T.T.3遺構



下中田遺跡出土遺物



太郎水野1遺跡出土遺物



太郎水野2遺跡出土遺物

図版11 下中田遺跡・太郎水野1遺跡・太郎水野2遺跡

(14) 桧山 a 遺跡（米沢市遺跡地図 A-278）

所 在 地 山形県米沢市万世町桜山字馬乗場

調 査 員 名和達郎、高橋 敏

調 査 期 日 現地確認 平成15年7月2日 試掘調査 平成15年7月28日～8月1日

起 因 事 業 東北中央自動車道相馬尾花沢線（福島～米沢間）建設事業

遺 跡 環 境 段丘上の緩斜面に立地し、埋没谷を挟む。標高は310mを測る。地目は水田・畑地・原野である。

試 掘 区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレント9ヶ所を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

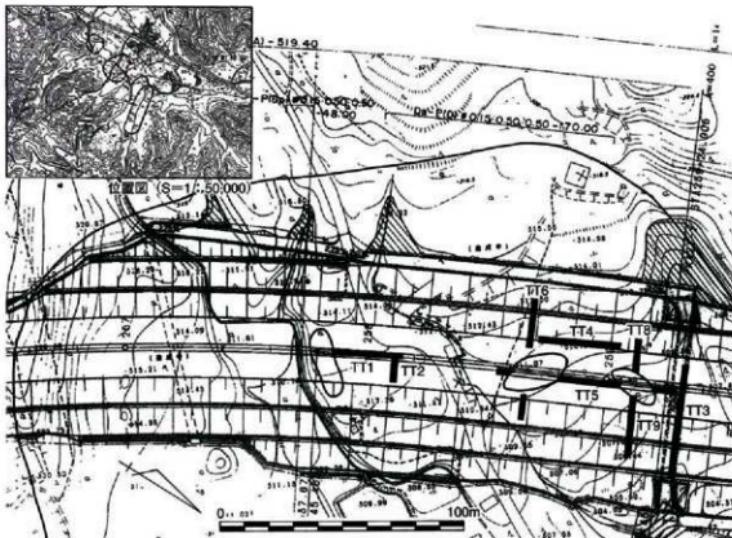
試 掘 面 積 391m² (対象面積約30,000m²)

検 出 遺 構 TT4・5でピット・土坑・落ち込みを検出。遺構・遺物確認面は、33～55cm。

出 土 遺 物 TT1・5から縄文土器片出土。

時 代 縄文時代

所 見 段丘上の緩斜面に東西300m以上、南北330mの遺跡範囲が確認された。拠点集落とはならないが、やや長めの滞在期間があったと考えられる。埋没谷対岸地区は買収後試掘が必要である。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



第19図 桧山 a 遺跡概要図

(15) 桦山d遺跡（米沢市遺跡地図A-297）

所 在 地 山形県米沢市万世町桦山字田ノ上

調 査 員 名和達郎、高橋 敏

調 査 期 日 現地確認 平成15年7月2日 試掘調査 平成15年7月28日～8月1日

起 因 事 業 東北中央自動車道相馬尾花沢線（福島～米沢間）建設事業

遺 跡 環 境 南北に伸びる狭い舌状丘陵上に立地する。標高は340mを測る。地目は山林である。

試 掘 区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘ピット3ヶ所を設定。

試 掘 方 法 人力で試掘調査を実施。

試 掘 面 積 2.5m²（対象面積約2,800m²）

検 出 遺 構 TP1・2で土坑・落ち込みを検出。遺構・遺物確認面は、24～45cm。

出 土 遺 物 出土していない。

時 代 繩文時代

所 見 尾根上に東西50m以上・南北300mの遺跡範囲が確認された。キャンプサイトあるいは狩猟場と考えられる。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



第20図 桦山d遺跡概要図

(16) まちがいけ
町在家館跡 (米沢市遺跡地図 A-373)

所 在 地 山形県米沢市万世町梓山字町在家

調 査 員 名和達郎、高橋 敏

調 査 期 日 現地確認 平成15年7月2日 試掘調査 平成15年7月28日～8月1日

起 因 事 業 東北中央自動車道相馬尾花沢線(福島～米沢間)建設事業

遺 跡 環 境 天王川(梓川)左岸の河岸段丘上に立地する。標高は300mを測る。地目は山林・水田である。

試 掘 区 事業予定地内の遺跡範囲に試掘トレンチ7ヶ所を設定。

試 掘 方 法 重機+人力で試掘調査を実施。

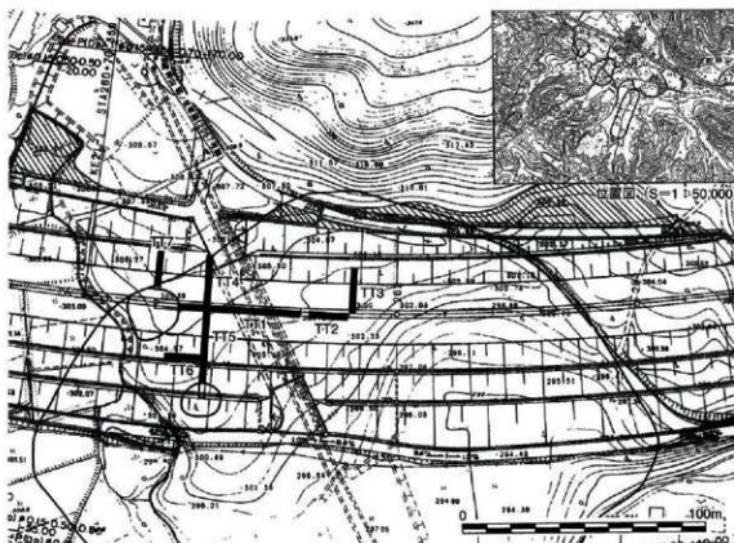
試 掘 面 積 266m² (対象面積約12,500m²)

検 出 遺 構 TT 1・4・5でピット・土坑・落ち込みを検出。遺構・遺物確認面は、26～76cm。

出 土 遺 物 TT 1・TT 7で縄文土器片出土。

時 代 縄文時代

所 見 河岸段丘上に東西220m・南北250mの遺跡範囲が確認された。今回、中世に属する遺構・遺物は確認されなかった。事業に係る範囲については、記録保存が必要と判断される。



第21図 町在家遺跡概要図



桙山 a 遺跡遠景



桙山 a 遺跡 T T 5



桙山 d 遺跡近景



桙山 d 遺跡 T P 1



町在家館跡近景



町在家館跡 T T 5



桙山 a 遺跡出土遺物



町在家館跡出土遺物

図版12 桙山 a 遺跡・桙山 d 遺跡・町在家遺跡

表-3 掲載遺跡位置図使用図幅一覧（2万5千分の1）

No	遺跡名	図幅名	No	遺跡名	図幅名
1	日塔B	桶岡	28	今泉金山裏跡	羽前小松
2	蓮台寺	山形北部	29	源徳原館跡	羽前小松
3	寺台	古口	30	蛇崩窓跡	羽前小松
4	広院院境内	古口	31	高瀬山	寒河江
5	角川小学校校庭	古口	32	高瀬山古墳	寒河江
6	新地	羽黒山	33	大在家	越野目
7	西山	羽黒山	34	船止	羽後觀音寺
8	長者原	手ノ子	35	河内城跡	余目
9	櫛木代E	大網	36	青沢館跡	升田
10	櫛木代F	大網	37	古志田	米沢
11	櫛木代G	大網	38	市布	米沢
12	玉虫沼B	宮宿	39	市布d	米沢
13	長瀬本楯	谷地	40	大洞	米沢
14	光明寺跡	天童	41	小松原A	羽前赤倉
15	楯ノ山1	上山	42	手倉森	海谷、舟形
16	楯ノ山2	上山	43	樋掛	羽後觀音寺
17	楯ノ山3	上山	44	中山城跡	羽前中山
18	一ノ堰1	上山	45	六角壇	赤湯
19	一ノ堰2	上山	46	百刈田	赤湯
20	野手倉1	上山	47	鶴ノ木館跡	赤湯
21	森合	上山	48	下中田	及位
22	田谷B	藤島	49	太郎水野1	及位、羽前金山
23	湯坂山	山形南部	50	太郎水野2	及位、羽前金山
24	梅野木前1	山形北部	51	梓山a	米沢東部
25	大導寺	尾花沢	52	梓山d	米沢東部
26	胡桃平II	叶水	53	町在家館跡	米沢東部
27	胡桃平I	叶水	54	一本松遺跡	古口

III まとめ

平成15年度の遺跡詳細分布調査は、平成15年度以降に予定されている開発事業に先行して、遺跡の所在・範囲等を明らかにし、開発との調整を図ることを目的として実施した。また、記録保存のための小規模な発掘調査と立会調査も行った。

1 調査遺跡数

調査遺跡数は58遺跡（表面踏査・試掘調査・発掘調査・立会調査新規発見遺跡含む）その他に調査遺跡数には含めないが、登録遺跡外で遺跡の有無を確認するために試掘調査を実施したもの（調査の結果、遺跡とはならないもの）や、表面踏査により各種開発事業予定地で抽出した遺跡可能性地（今後の試掘調査等で遺跡となるかを判断するもの）などについても調査を実施した。

2 新規発見遺跡、範囲の訂正、遺跡登録抹消

今年度の新規発見遺跡数 23遺跡

範囲の訂正、名称の変更等の措置が講ぜられた遺跡数 4 遺跡

遺跡登録の抹消の措置をする遺跡数 なし

以下にその一覧を掲げて調査のまとめとする。

(1) 県教育委員会が発見し登録した遺跡

(遺跡名)	(所在地)	(種別)	(時代)
1 新地遺跡	東田川郡藤島町大字添川字新地	散布地	縄文時代
2 榛代F遺跡	東田川郡櫛引町大字榛代字外山道	散布地	縄文時代
3 榛代G遺跡	東田川郡櫛引町大字榛代字西野	散布地	縄文時代
4 榛代H遺跡	東田川郡櫛引町大字榛代字西野	散布地	縄文時代
5 植ノ山1遺跡	上山市大字小倉字植ノ山	散布地	縄文時代
6 植ノ山2遺跡	上山市大字小倉字植ノ山	散布地	縄文時代
7 植ノ山3遺跡	上山市大字小倉字植ノ山	散布地	縄文時代
8 一ノ堰1遺跡	上山市大字小倉字一ノ堰	散布地	縄文、奈良・平安時代
9 一ノ堰2遺跡	上山市大字小倉字一ノ堰	散布地	縄文時代
10 野手倉1遺跡	上山市大字小倉字野手倉	散布地	奈良・平安時代
11 森合遺跡	上山市大字権現堂字森合	散布地	縄文時代
12 一本松遺跡	最上郡戸沢村大字蔵岡字一本松	散布地	縄文時代
13 湯坂山遺跡	上山市弁天	散布地	奈良・平安時代
14 七色船1遺跡	尾花沢市大字尾花沢字七色船	散布地	縄文時代

(遺跡名)	(所在地)	(種別)	(時代)
15 七色船 3 遺跡	尾花沢市大字尾花沢字七色船	散布地	縄文時代
16 七色船 5 遺跡	尾花沢市大字尾花沢字七色船	散布地	縄文時代
17 七色船 7 遺跡	尾花沢市大字尾花沢字七色船	散布地	縄文時代
18 太郎水野 1 遺跡	最上郡金山町大字中田字太郎水野	散布地	縄文時代
19 太郎水野 2 遺跡	最上郡金山町大字中田字太郎水野	散布地	縄文時代

(2) 国等の機関、市町村教育委員会からの通知、地権者からの届出で登録した遺跡

(遺跡名)	(所在地)	(種別)	(時代)
1 平塙橋沢山遺跡	寒河江市大字平塙1091-26	散布地	縄文時代
2 上ノ原一字一石経塚	大石田町大字大石田丁240-8	その他	近世
3 塔ノ下遺跡	長井市成田字塔ノ下	集落跡	奈良・平安時代
4 所部遺跡	山形市大字山寺字所部	散布地	旧石器時代

(3) 範囲等の修正を必要とする遺跡

(遺跡名)	(変更内容)	(変更を必要とする文献名)
1 百刈田遺跡	範囲の修正	平成16年3月『分布調査報告書(30)』
2 源徳原館跡	範囲の修正	平成16年3月『分布調査報告書(30)』
3 梅野木前 1 遺跡	範囲の修正	平成16年3月『分布調査報告書(30)』
4 梶代 A 遺跡	位置の修正	平成12年度 山形県埋蔵文化財基本情報整備業務 デジタルデータ 庄内ブロック

山形県埋蔵文化財調査報告書第205集
分布調査報告書(31)

平成15年度以降農林土木事業他関係遺跡
国土交通省事業関係遺跡
東北中央自動車道関係遺跡

平成17年3月25日印刷

平成17年3月31日発行

発行 山形県教育委員会

印刷 山形印刷株式会社
